

A3.

日高市内から、「高麗郡」がつくられた時の品々が  
多く発見されています。



市内には、高麗郡が  
つくられた時に建てられた  
古い寺跡が3か所あります。  
そこからはお寺の屋根につかわれ  
た瓦が多く発見されています。  
また、当時の役人が使っていた  
さまざまな品物が武蔵高萩駅周辺  
から見つかっています。

2016年(平成28年)に  
高麗郡建郡1300年を  
むかえます。みんな  
でお祝いをしようね!



# ふるさと『日高市』の歴史を知ろう!

## 高麗郡 1300年の巻



今から、およそ1300年前、現在の日高市を中心に  
「高麗郡」ができました。

Q1. どのようにして「高麗郡」ができたの?

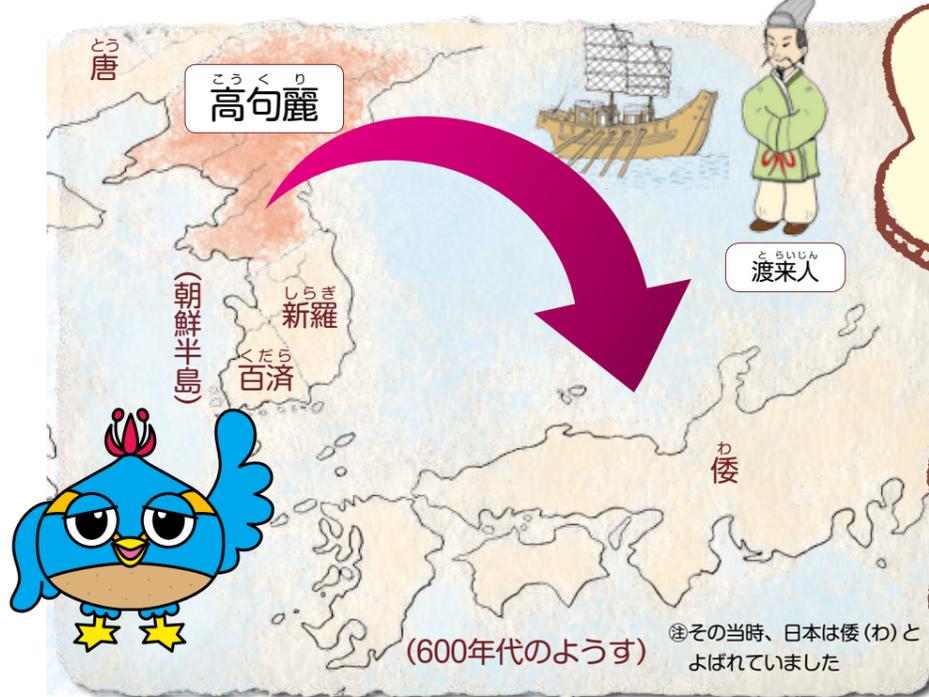
Q2. その時、どんな人が中心になっていたの?

Q3. なぜ、「高麗郡」があったことがわかるの?

◆2015年(平成27年)3月  
◆発行 日高市 〒350-1292 日高市大字南平沢1020 電話042-989-2111(代)  
写真資料提供: 日高市教育委員会  
※このパンフレットは「埼玉県ふるさと創造資金」を活用しています。



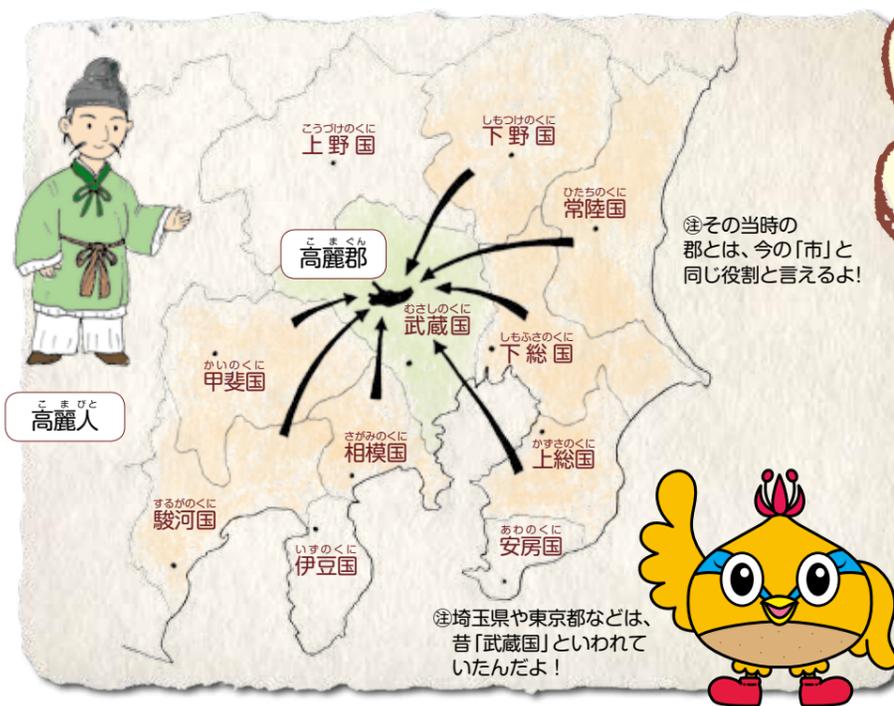
**A1.** 高麗郡は「高句麗」という国から日本に渡って来た人たち(「高麗人」と呼ばれる渡来人)によってつくられました。



高句麗は、中国の東北部から朝鮮半島にかけて約700年間(紀元前37年頃から668年)栄えた大きな国でした。その高句麗は、唐(今の中国)や新羅と戦っていましたが、戦いにやぶれ、668年にほろんでしまいました。

国がなくなってしまったため、高句麗から海を渡って日本に来る人たちが多くいました。その人たちを日本では「高麗人」と呼びました。  
④高句麗・新羅・百済などから来た人たちをさして「渡来人」と言います。

716年(今から1300年前)に、関東各地(当時の7カ国)に住んでいた「高麗人」1,799人が武蔵国に集められ、「高麗郡」ができました。



「高麗郡」ができたことは、昔の歴史書である『続日本紀』に書かれています。

高麗人たちの渡来人は、大陸の進んだ技術や文化を伝えました。

**A2.** 高麗郡をつくった時のリーダーが「高麗王若光」という人で、日高市にはゆかりの建物があります。



若光は、666年高句麗よりのつかい(戦いの援軍をお願いするため)として、日本へやってきました。しかし、668年高句麗がほろび、帰れなくなってしまいました。

703年、日本の朝廷より「高麗王」の姓を与えられました。その時から「高麗王若光」と名のることになりました。歳をとって、白ひげをはやしていたので「白ひげ様」ともいわれたとの伝説も残っています。

約1200年間続いた高麗郡は、1896年(明治29年)入間郡に組み入れられて、その名が消えました。



1896年の高麗郡

その時の高麗郡の範囲は、日高市と鶴ヶ島市の全域、それに飯能市や川越市、狭山市、入間市の一部まで入っていました。

高麗郡の範囲は、日高市よりも広がったんだよ!